

7月21日 朝の勉強会 テーマ「肺血栓塞栓症」

30歳代男性

[主 訴] 呼吸苦

[現病歴] X-10日, 転倒して右下肢を骨折し, ギプス固定して過ごしていた. X-1日, 呼吸苦, 意識消失, 冷汗の自覚があり, X日に症状が改善しないため受診.

[既往歴] 右下肢骨折 家族歴] 特記事項なし [生活歴] 機会飲酒, 喫煙歴なし

[身体所見] 右下肢ギプス固定 下肢の腫脹なし

[バイタルサイン] BT 37.1°C, HR 110/分, SpO2 94%, BP 128/75mmHg, RR 16/分

◆初期対応

呼吸管理: SpO2 ≥ 90% 循環管理: 輸液, 薬物療法

◆初期治療

抗凝固療法・・・ヘパリン DOAC

<心停止>
カテーテル治療
アルテプラゼ

<血行動態不安定>
ヘパリン

<血行動態安定>
ヘパリン
フォンダパリヌクス
DOAC

◆急性期以降 (発症から約10日)

ワルファリン, DOAC

(ヘパリンで治療開始した場合には変更する)

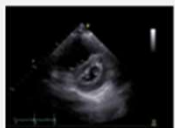
* エドキサバン, ワルファリンはヘパリン投与後から使用.

胸部Xp, 動脈血ガス (PaO2, A-aDO2), Dダイマー
心エコー (右室拡大, 右自由壁運動低下)

★検査前臨床的確率低い+Dダイマー(-) →PTEは否定

↓

確定診断: 造影CT (肺動脈の血栓像)



Take home message

◆肺血栓塞栓症とは, 血栓が肺動脈を塞栓することで『肺高血圧, 右心負荷, 低酸素血症』を生じる病態.

◆診断は造影CT, 除外は検査前確率とDダイマーでもできる.

◆治療は血行動態, 重症度によって決める.

◆抗凝固薬は患者に合わせて選択する. 原因検索して治療期間を決める